

コスモス 6月号

第72巻 第6号

◆宮柊二カレンダー(63) 六月の歌

歌詠めず夜に入りたり感動なき六月一日気象

記念日

歌集『純黄』

初出は昭和56年(六十九歳)の「短歌」9月号「片々へんへん二十首」。病で心身の不自由さは増し、歌を詠めぬまま時が経つ無念を上句から読み取る。詠めぬ訳は三句に示される。感動があつてこそ短歌は生まれるが、その感動がないと吐露する。とはいえ、やや武骨で率直なこの一首を得、時事、景物、境涯、回想、挽歌を詠んで三十首仕上げた。

明治8年のこの日、初の天気予報「全国一般風ノ向キハ定リナシ天氣ハ変リ易シ但シ雨天勝チ」が発表されたこと、柊二は知っていたかもしれない。

(中津川勅坐)